

指定管理者評価シート

事業名	老人福祉センター運営管理費	所管課(電話番号)	保健福祉局高齢保健福祉部高齢福祉課(211-2976)
-----	---------------	-----------	-----------------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市厚別老人福祉センター	所在地	厚別区厚別中央1条7丁目
開設時期	平成4年4月	延床面積	1,561㎡
目的	老人に対する福祉の増進		
事業概要	老人に対する生活相談、健康相談、機能回復訓練及びレクリエーションの実施、職能訓練及び就職の指導、老人デイサービス事業、浴室その他の施設を老人の使用に供すること		
主要施設	大広間、職能訓練室、機能回復訓練室、浴室、娯楽室		
2 指定管理者			
名称	(社福)札幌市社会福祉協議会		
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日		
募集方法	非公募 非公募の場合、その理由:当センターで実施している老人デイサービス事業において、利用者に対し適切なサービスを提供していくためには、利用者と施設職員との間には継続的な人的信頼関係が必要不可欠であり、指定管理期間の満了により指定管理者が変更されると、施設の管理運営に重大な支障をきたし、利用者にも不利益を与えるおそれがある。管理が良好に行われている法人であるため、非公募とした。		
指定単位	施設数:1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	施設管理業務、各種相談業務、健康増進業務、教養講座業務、レクリエーション業務、老人デイサービス業務		
3 評価単位	施設数:1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

II 令和元年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価				
1 業務の要求水準達成度							
(1)統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>▼設置目的を実現すべく、①札幌市社会福祉協議会職員の専門性を活かした包括的な支援・サービスの提供を行ない、誰もが平等にサービスを受けることができるよう支援する。②老人福祉センターを拠点としたボランティア活動の充実と高齢者の社会に参加する機会を提供する。③利用対象者のみならず、地域の方々とも交流出来るような場を提供する、④各区社会福祉協議会等関連機関との更なる連携強化を図る。⑤老人福祉センター周辺の地域性による臨機応変な取組を支援する。⑥講座・サークル活動の取組を支援する。⑦更なる経費縮減を図る。の7つの基本方針を策定し、その内容を職員全員が意識し、取り組んでいる。</p> <p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>▼「全ての利用者に対して、信条や性別・年齢、あるいは社会的身分等によって、合理的な理由がなく利用の制限や利用料金の減免や、不当な差別的取扱いをすることなく公平中立な対応をする。」という方針を策定し、平等利用に係る心構え及び重点取組項目を事務室内に掲示するとともに、研修やミーティング等により情報を共有し、関係法令の遵守の徹底や利用者の視点に立ったサービスの提供を行った。</p> <p>▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進</p> <p>▼札幌市社会福祉協議会の環境保全行動計画に関する要綱に基づき、エコ活動の推進に取組み、二酸化炭素排出量の削減のため、光熱水費等を節約し、環境への配慮に努めた。</p> <p>▼廃食油回収ボックスを設置した。</p> <p>▼デイサービス送迎の運転時はアイドリングストップや穏やかな発進等を実践し、エコドライブを推進した。</p> <p>▼物品等はグリーン製品購入の推進に努めた。</p> <p>▼環境へ配慮した取組に関して職員研修を行った。</p> <p>▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)</p> <p>▼指定管理業務仕様書どおり責任者・従事者を配置した。</p> <p>▼指揮命令系統、業務分担等を事務分掌にて定めた。</p> <p>▼研修計画に基づき、更なるサービスの向上のための職員研修を実施するとともに、その内容を全職員に周知する等、人材育成に努めた。</p>	<p>札幌市社会福祉協議会の基本理念及び札幌市の高齢者施策、方針に基づき適正な管理運営を行うことができた。</p> <p>基本方針や重点取組項目を策定し、適正に取組むことができた。</p> <p>各種取組により、環境への配慮に努めた。</p> <p>外部及び内部研修を通して職員の資質向上に努めた。不祥事防止や法令遵守を目的にミーティング等を実施し、意識を高めることができた。</p>	<table border="1" data-bbox="1252 320 1444 353"> <tr> <td>A</td> <td style="background-color: yellow;">B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>仕様書に沿って適正に実施されている。</p>	A	B	C	D
A	B	C	D				

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

▼札幌市社会福祉協議会で管理している施設の担当者から施設長までの各職階ごとの会議を行い、日々の業務の課題や問題点、その対応方法についての確な情報交換を行うとともに、ネットワークシステムにより各施設間において必要な情報共有を図った。
▼職員会議や日々のミーティングを効率的に実施し、所属職員に情報共有する機会をもった。

必要な情報の共有を図り、管理水準の維持向上に向けた取組を行うことができた。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

▼適正な施設の維持管理を行うため、専門的な知識が必要な業務を委託し、履行時の確認及び報告書等の提出を求め、必要に応じて改善・指導を行った。

委託業務の履行確認を適宜行い、適正な管理を行った。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
第1回 令和元年 6月24日	・平成30年度管理業務報告及び令和元年度事業計画について ・平成30年度利用者アンケート及び苦情報告等について ・意見交換(市民サービスや管理水準の維持向上)
第2回 令和2年 2月14日	・令和元年度管理業務中間報告 ・令和元年度苦情報告等について ・意見交換(令和2年度に向けた取組について)
<協議会メンバー> 新さっぽろ町内会会長、福祉のまち推進センター長、地域包括支援センター長、教養講座講師、サークル代表者、センター利用者、札幌市高齢福祉課職員、館長、副館長	

指定管理業務仕様書に基づき、年2回の協議会を開催し、活発な意見交換を行った。今後のセンター運営の参考にしたい。

	<p>▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)</p> <p>▼資金管理については、「資金管理運用規程」により、資金の区分、運用の基本方針、運用対象等について定めており、資金の適正かつ効率的な管理運用を行った。定期的に監事監査や公認会計士による外部会計監査を導入している。</p> <p>▼現金等の取扱いについては、「経理規程」に基づき、「経理事務の手引き」を定め、不適切な経理事務の未然防止として、外部監査、内部監査、月末残高照合を実施するとともに、日常的に現金実査を行っている。</p> <p>▽ 要望・苦情対応</p> <p>▼札幌市社会福祉協議会苦情解決処理規程及び苦情解決処理要領に基づき、適切に対応することとしている。また、必要に応じて苦情を解決していく過程のなかに客観的な視点を入れることを目的とした外部の有識者3名による「第三者委員」も当法人において設置している。</p> <p>▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)</p> <p>▼利用者ニーズに積極的に対応するため、2月にアンケート調査を行い、結果を掲示した。また、意見・要望等については、可能な限り改善を行った。</p> <p>▼記録・報告については定められた基準に基づき、作成・報告を行った。</p> <p>▼札幌市の実地検査の結果、指摘事項があったことから、速やかにその改善に取り組んだ。</p>	<p>適切な管理を行った。</p> <p>要望・苦情等については迅速かつ適切に対応することができた。</p> <p>・意見・要望等は整理して今後のサービス向上につなげるため、職員会議に諮り改善を行った。</p> <p>・実地検査の指摘事項については、すでに改善しているが、今後は適正な事務処理に努めたい。</p>	
--	---	--	--

<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <p>▼就業規則等については、各種関係法令を遵守するとともに、各職員に過度の負担がかからないよう勤務割等に配慮した。また、札幌市社会福祉協議議会は札幌市からワークライフバランス企業と認証され、その実現に積極的に取り組んでいる。</p> <p>▼年間10日以上、年次有給休暇を付与される職員へは5日間以上の取得を促進した。</p>	<p>関係法令の遵守はもちろん、勤務割も希望により配置する等、就業しやすい環境づくりを行った。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4">法令を遵守し、職員の良好な雇用環境が維持できるよう努めている。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	法令を遵守し、職員の良好な雇用環境が維持できるよう努めている。			
A	B	C	D								
法令を遵守し、職員の良好な雇用環境が維持できるよう努めている。											
<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <p>▼定期的に避難誘導・通報等の訓練を実施した。</p> <p>▼AED講習会を実施した。参加者43人</p> <p>▼「感染症予防マニュアル」に基づき、利用者への感染対策を図った。</p> <p>▼緊急時等におけるセンター連絡体制を作成し、最短の時間で連絡可能な体制を確保した。</p> <p>▼指定管理業務仕様書に適合した施設賠償責任保険に加入した。</p> <p>▼拾得物については、拾得物一覧簿に記載し、適切に処理を行った。</p> <p>▼突然の降雨時に傘の貸出しを行った。</p> <p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <p>▼清掃、警備、施設保全、電気工作物、施設管理、除雪業務は委託を行い、適正に管理を行った。</p> <p>▼設備、機器類は委託による予防保全を行い、利用に支障のないよう速やかに修繕を行った。</p> <p>▼備品台帳を備え、適正かつ効率的な備品管理を行った。</p> <p>▼駐車場の管理については、適時見廻りを行い、無断駐車防止と近隣の安全確保に努めるとともに、必要に応じて館内放送等で案内・誘導を行った。</p> <p>▼外構緑地に関しては、1日2回見廻り点検を実施し、美観の保持、利用者の安全、防犯及び近隣への配慮を維持した。</p> <p>▽ 防災</p> <p>▼指定管理業務仕様書に基づいた防災業務計画を策定し、年2回(6月、12月)自衛消防訓練を実施した。</p> <p>参加利用者数 6月:48人/12月:87人</p>	<p>利用者の安全を第一に必要な配慮を行い、安全確保に取り組んだ。また、傘の貸出しは好評を得ることができた。</p> <p>指定管理業務仕様書に基づき、適切な管理を行った。</p> <p>指定管理業務仕様書に基づき、適切な防災管理を行った。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4">屋外避難階段からの避難経路が駐車スペースになっていることについて、実地調査において改善指導を行ったところ、速やかに改善された。今後も利用者の安全確保に努めてほしい。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	屋外避難階段からの避難経路が駐車スペースになっていることについて、実地調査において改善指導を行ったところ、速やかに改善された。今後も利用者の安全確保に努めてほしい。			
A	B	C	D								
屋外避難階段からの避難経路が駐車スペースになっていることについて、実地調査において改善指導を行ったところ、速やかに改善された。今後も利用者の安全確保に努めてほしい。											

(4)事業の計画・実施業務	▽ 生活相談に関する業務		A B C D
			<p>▼専門家等相談事業開催回数:4回 (うち参加者が15人以上であった回数:4回) (要求水準:年4回以上開催・参加者15人以上)</p> <p>▼「初心者向けスマホ教室」を開催した。 1回目 参加人数37人 2回目 参加人数25人</p> <p>▼「原気けいらく体操」を開催した。 1回目 参加人数27人 2回目 参加人数24人</p>
<p>▽ 健康増進、機能訓練に関する業務</p> <p>▼講演・運動等事業開催回数:118回 (うち参加者が20人以上であった回数:65回) (要求水準:年30回以上開催・参加者20人以上)</p> <p>▼輪になってフォークダンス等を楽しむ「輪踊りダンス」を年22回開催した。延参加人数423人</p> <p>▼転倒予防教室を年66回開催した。延参加人数1,319人</p> <p>▼ウォームシェア事業として体操教室である「健美操」「いすヨガ」を年4回開催した。延参加人数184人</p> <p>▼「あへあほ体操」を年10回開催した。延参加人数287人</p> <p>▼健康セミナー(医師等の講話)を年5回、地域合同で開催した。延参加人数104人</p> <p>▼健康づくりのためにみんなで一緒に歌う「歌声広場」を1回開催した。参加人数83人</p> <p>▼「ふまねっと教室」を年10回開催した。延参加人数は153人</p> <p>▼高齢者の体力の維持・向上・増進等訓練のため、各種訓練機器を設置している。利用人数4,576人</p>	<p>・要求水準を達成できた。 ・高齢者の健康維持・増進を図るとともに、介護予防を踏まえた、地域連携による健康増進事業を積極的に推進した。さらに自主的サークルへの支援も行うことができた。</p>	<p>また、定員を設けている教養講座、レクリエーションの申込率が高いことは、利用者のニーズを捉えた事業を実施できていると認められる。</p>	
<p>▽ 浴室業務</p> <p>▼利用者数:4,672人(前年度5,710人) ※目標値(館設定) 6,000人 ※令和2年3月2日～令和3年3月31日まで新型コロナウイルスの影響による臨時休館に伴い、入浴中止。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3/2より全館休館となったことから、利用者数が減少した。</p>		

▽ 教養講座に関する業務

▼月2回以上開催する健康増進に関する講座
:6種類

定員制	自由参加
健康ヨガ	健美操
骨盤体操	舞踊
	社交ダンス
	フラダンス
2種類	4種類

▼月2回以上開催する教養向上に関する講座
:9種類

定員制	自由参加
水彩画	詩吟
絵手紙	カラオケ
木彫	民謡
ペン習字	
茶道	
書道	
6種類	3種類

▼講座毎の定員申込率:8講座中、全講座が70%以上の申込あり
(要求水準:月2回以上開催する健康増進及び教養講座に関する講座を各4種類以上、定員申込率70%以上)

要求水準を達成できた。また、受講希望の多い講座は、前期・後期に分けて実施するなど多くの方が利用できるよう工夫した。

▽ レクリエーション、各種行事の開催等に関する業務

- ▼レクリエーション参加人数:12,678人
実施内容:読書、卓球、囲碁、将棋、オセロなど開館日に娯楽室等を開放し、利用者相互の交流の場を提供した。
- ▼各種行事参加人数:1,829人
- ▼春季行事として、「演芸発表会」「民謡発表会」「囲碁大会」を実施した。参加人数294人
- ▼地元町内会・老人クラブとの合同行事として、「納涼盆踊り大会」を開催した。参加人数74人
- ▼高齢者福祉週間行事として、「演芸発表会」「民謡発表会」「囲碁大会」「卓球大会」「(社交)ダンスを楽しむ会」「秋のお茶会」を実施した。参加人数360人
- ▼講座及びサークルの作品発表の場として、作品展示会である「文化祭作品展」を実施した。見学者数454人
- ▼年末行事として、「Xmas(社交)ダンスパーティー」「年末演芸の集い(演芸発表会)」を実施した。参加人数186人
- ▼新春行事として、「新春初釜」「新春かるた大会」を実施した。参加人数103人
- ▼近隣大学生との交流行事として、「国際大学卓球交流会」を実施した。参加人数8人
- ▼定員を設けているもののうち、定員の70%以上の申込みがあったもの:2回中、2回

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3/2より全館休館となったことから、レクリエーションの利用者が減少するとともに、一部予定していた行事も中止となった。

定員制行事名	定員数	申込数	申込率
秋のお茶会	70	70	100%
新春初釜	70	85	121%

▽ 高齢者の活動支援及び地域開放に関する業務

- ▼講座修了生の自主的サークル活動の支援や地元町内会などの地域住民、老人クラブ等に空室を提供した。利用人数15,718人
- ▼地域活動応援講座として、地元小学校から小学生が参加した「子供囲碁教室」を第1土曜日を除く毎週土曜日に空室を利用して実施した。参加人数164人
- ▼地元住民の高齢者の交流の場として女性向け老人クラブ「さわやかサロン」へ空室を開放した。参加人数330人

地域活動の拠点となるよう積極的に開放し、施設の有効活用が図れた。

▽ 老人デイサービス事業に関する業務

- 利用者数:目標5,581人、実績4,740人
- ▼送迎、健康チェック、食事、入浴、排泄、心身機能の回復・維持、個別機能訓練、介護予防サービス、相談助言や、関係機関等との必要な連絡を随時実施した。
- ▼季節にあった行事を取り入れ、野外活動や各種レクリエーションを実施。行事には全家族や個別に必要なと思われる家族に働きかけ参加してもらえる企画を実施した。
- ▼地元中学校に就業体験の場として提供した。

新型コロナウイルスの影響により、利用を控える方が増加し、目標値に届かなかったが、今年度は体験者(22名)及び新規利用者(16名)が大幅に増加した。

	<p>▽ その他設置目的に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼社会貢献として、福祉を志す学生や看護実習生等を積極的に受け入れた。延受入人数118人 ▼近隣中学校の「就業体験」を積極的に受け入れた。延受入人数18人 ▼近隣小学校との交流行事(短編劇の発表やゲーム、メッセージカードのプレゼント等)を実施した。参加人数92人 ▼文化創作活動の発表と文芸を通しての交流を目的として、老人福祉センター利用者から俳句・短歌等の作品を募集し、合同文集「輝き」を発行した。 ▼札幌市の委託事業として、札幌市介護予防自立支援事業の自主活動化支援事業「元気シェアサポーター養成教室」を1クール6回にて開催し、申込者は24名。生活機能向上支援事業「くらし・はつらつ応援教室」を1クール8回×2クールとし、1回目は当センター、2回目は厚別中央の信濃会館で開催し、申込者は計19名であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会貢献や介護予防事業等の各種取り組みを行い、情報の発信により福祉の増進を図っている。 ・厚別区社会福祉協議会をはじめ、地域包括支援センター等地域にある団体との連携を行うことで、相談内容に応じた関係機関を紹介し、地域福祉の充実に貢献できるよう努めた。 																				
<p>(5)施設利用に関する業務</p>	<p>▽ 利用件数等</p> <table border="1" data-bbox="389 801 986 936"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H30年実績</th> <th>R1年計画</th> <th>R1年実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td>人数(人)</td> <td>53,112</td> <td>55,000</td> <td>48,474</td> </tr> <tr> <td>浴室</td> <td>人数(人)</td> <td>5,710</td> <td>6,000</td> <td>4,672</td> </tr> </tbody> </table> <p>▽ 不承認0件、取消し0件、減免0件、還付0件</p> <p>▽ 利用促進の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼全施設アンケートを実施し、利用者ニーズの把握に努めた。 ▼利用者を委員に加えた運営協議会を開催し、適切な施設運営の参考とした。 ▼地域協働行事や地域児童を対象とした囲碁教室の実施など施設PRを図った。 ▼利用者の意見要望などタイムリーなニーズを把握するため、ご意見箱を設置した。 ▼毎月、福祉のまち推進センターや地元町内会に館内新聞を届けPRを図った。 ▼施設PRのため、新年度講座のご案内と合わせて、老人福祉センターのPRチラシを作成し、厚別区内全域の町内会にて回覧を行った。 			H30年実績	R1年計画	R1年実績	全体	人数(人)	53,112	55,000	48,474	浴室	人数(人)	5,710	6,000	4,672	<p>様々な利用促進の取り組みは行っているが、新型コロナウイルスの影響もあり、計画を上回る事が出来なかった。</p>	<table border="1" data-bbox="1252 766 1449 801"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>新型コロナウイルス影響により利用者数は減少したが、各種PRを行い、利用促進に努めている。今後も効果的な取組を継続し、利用者の確保につなげてほしい。</p>	A	B	C	D
		H30年実績	R1年計画	R1年実績																		
全体	人数(人)	53,112	55,000	48,474																		
浴室	人数(人)	5,710	6,000	4,672																		
A	B	C	D																			
<p>(6)付随業務</p>	<p>▽ 広報業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ホームページによりタイムリーな情報を積極的に提供した。 ▼教養講座募集時、厚別区内全域にご案内チラシの回覧を実施した。 ▼他の老人福祉センターの広報誌を希望される方に配付できるようにし、利便性を高めるとともに広報活動の強化を図った。 ▼町内会用の広報誌「厚別老人福祉センターからのお知らせ」を作成し、月1回配付しPRを行った。 ▼福祉のまち推進センターの独居老人の見守り事業に協力すべく、当施設の利用等に関するチラシを作成し、月1回配布してPRを行った。 ▼令和元年度ウェブアクセシビリティ取組確認・評価表を公開した。 <p>▽ 引継ぎ業務</p> <p>(全回から継続指定のため、引継業務なし)</p>	<p>積極的に施設PRを行っている中で、講座募集案内の町内会のチラシ配布によって、新規利用者の掘り起しに繋がった。</p>	<table border="1" data-bbox="1252 1438 1449 1473"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>積極的な広報業務を実施している。また、ウェブアクセシビリティについて、仕様書に則り適切に取り組んでいる。</p>	A	B	C	D															
A	B	C	D																			

2 自主事業その他			A	B	C	D	
▽ 自主事業 ▼飲料の自動販売機を設置し、利用者の利便提供を図った。 手数料収入 181,930円 ▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等 ▼清掃業務を障がい者団体に委託した。 ▼施設修繕及び物品購入は市内業者を中心に発注した。 ▼障がい者団体に週1回手作りパンの販売場所を提供した。		他の一部の老人福祉センターにある喫茶コーナーに代わるカップ式自販機も設置し、利用者への利便提供を図った。 市内企業を活用する他、福祉施策への配慮を心掛け、実践できた。				札幌市の施策に沿った運営を行っている。	
3 利用者の満足度							
▽ 利用者アンケートの結果				A	B	C	D
実施方法	令和2年2月3日(月)から同年2月17日(月)の期間に厚別老人福祉センターを利用された方を対象にアンケート用紙を配布し、記入していただいた。 配布数330枚 回収310枚(目標値280枚以上) (デイサービス回収51枚(目標値43枚以上)、家族17枚)	今年度も310枚と多くの方に協力を得ることができた。 また、満足度は全ての項目について目標値を達することができ、多くの利用者様に満足していただけるような施設運営を目指した結果であると思われる。	全ての項目で目標以上の満足度を得ており、評価できる。引き続き、利用者の意見、要望等を大切に、満足度を向上させることを期待する。				
結果概要	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な満足度: 目標:67%、結果:84.47% 職員の接遇に関する満足度: 目標:72%、結果87.70% 専門家相談に関する満足度: 目標:80%、結果:80.53% 健康増進・機能訓練に関する満足度: 目標:80%、結果:80.43% 教養講座に関する満足度: 目標:80%、結果:93.21% レクリエーション・各種行事に関する満足度: 目標:80%、結果:87.45% 通所介護等に関する満足度: 目標:80%、結果:利用者→88.24%、家族→100%、接遇→94.12% 						
利用者からの意見・要望とその対応	【要望】 教養講座がなかなか当たらないので、年齢の高い方から入れてほしい。 【対応】 申込が多い講座は時間帯を前後で分けて利用して頂き、また、時間を区切ることのできない講座は、前期・後期に開講するように対応しておりますが、どうしても、定員以上に受講を希望されている方が多いのが現状です。合わせて、以前に受講したことがない方を優先している旨伝え、ご理解頂くよう説明した。 【要望】 いつでも誰とでも談話できるサロンや軽い食事や買い物ができる店があるといい。 【対応】 他の老人福祉センターには、喫茶コーナーがあるセンターもあるが、当センターにはそのような施設がない旨伝え、週1回ロビーにて、障がい者福祉施設の方がパン等の販売に来るので、そちらを利用頂くよう説明した。						

4 収支状況				A	B	C	D
▽ 収支 (千円)							
項目	R元年度計画	R元年度決算	差(決算-計画)				
収入	82,991	75,954	▲ 7,037	利用料金収入が減少となったため支出を抑制し、収支のバランスをとるよう努めた。 新型コロナウイルスの影響による休館やデイサービス利用者の減により収入が減少したが、収支のバランスを図り運営することができている。			
指定管理業務収入	82,701	75,698	▲ 7,003				
指定管理費	41,962	41,962	0				
利用料金	40,363	32,971	▲ 7,392				
その他	376	765	389				
自主事業収入	290	256	▲ 34				
支出	82,161	74,814	▲ 7,347				
指定管理業務支出	82,055	74,709	▲ 7,346				
自主事業支出	106	105	▲ 1				
収入-支出	830	1,140	310				
利益還元	0	0	0				
法人税等	830	1,140	310				
純利益	0	0	0				
▽ 説明							
▼利用料金収入は、新型コロナウイルス感染防止拡大による休館等の影響により、計画より7,392千円の減となった。 ▼指定管理業務支出は、収入の減にともない光熱水費等の支出を抑制したため、計画より7,346千円の減となった。							

<確認項目> ※評価項目ではありません。		適	不適
▽ 安定経営能力の維持	・運営管理は、指定管理費及び通所介護事業の介護保険収入で行われており、支出の抑制も図りながら、収支のバランスをとり、安定した経営に努めている。		
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応	・個人情報保護については、札幌市社会福祉協議会の「個人情報保護方針」及び「個人情報の保護に関する規程」に基づき適正に対応している。 ・情報公開については、札幌市社会福祉協議会の「情報公開規程」に基づき透明性の確保に努めている。なお、請求は0件であった。 ・暴力団の排除については、札幌市暴力団の排除の推進に関する条例に基づき、施設を暴力団の活動に使用させないことや、協定に関する契約については暴力団員や暴力団関係事業者を相手方としないように努めている。なお、暴力団関係と思われる相手方の利用や契約の実績はなかった。		

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>管理業務仕様書及び事業計画書に沿った事業運営を順調に実施できた。町内会、老人クラブによる共催行事の実施、子供囲碁教室、町内会活動等地域への積極的な空室開放、介護予防等に係る事業などを開催したことにより、当センターを地域・市民の活動の拠点として広く活用することができた。また、厚別区内全域の町内会に当センターのチラシを回覧することで、老人福祉センターの認知を広めることができ、特に介護予防に関しては、札幌市介護予防自立支援事業の「くらしはつつ応援教室」を出前講座として、厚別区内の信濃地区会館で実施し、PRを図ることができた。</p> <p>今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、令和2年3月2日から休館となり、利用者数が大きく減少したが、感染症の流行期である1月及び2月は館内消毒の実施や手洗いの励行など衛生管理の徹底に努めた。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症が終息しないなか、引き続き衛生管理の徹底を重点的に取組むこととし、1日3回の消毒作業に加え、特に手の触れる場所の適宜消毒を行う。また、利用する方にはマスク着用、検温、手洗いの励行、密集を避けるなど老人福祉センターの新しい利用方法を定着したい。感染拡大防止に留意して開催する事業の方法を検討するとともに、老人クラブや地域住民との交流も進めていきたい。</p>

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>施設の目的に沿って、適切な運営管理を行っている。特に、利用者満足度において全ての項目で目標を達成したことは、利用者のニーズを捉えた事業を実施できたものと評価できる。また、近隣大学生や地域の子どもたちとの交流事業を継続して実施し、地域福祉に寄与したと認められる。</p> <p>今後は、新型コロナウイルスの影響が継続する可能性があることから、感染対策を十分に講じ、利用者の安全を確保した事業展開を行っていただきたい。</p>	<p>屋外避難階段からの避難経路が駐車スペースになっていることについて、改善指導を行ったところ、速やかに改善された。</p>